



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2020年12月6日号

編集 / 毎日新聞社販売局D・クリエーションセンター

論点 「選択的夫婦別姓を問う」

11日(金) = オピニオン面

選択的夫婦別姓制度を巡る議論が自民党内で活発化しています。過去に「理解を示していた」と指摘された菅義偉首相が臨時国会で「政治家として申し上げてきたことには責任がある」と発言し、注目が集まりました。自民党で賛成、反対両派が相次いで会合を開く中、主張が異なる自民党女性議員3人に、自らの経験も踏まえて必要性や課題を聞きます。

と発言し、注目が集まりました。自民党で賛成、反対両派が相次いで会合を開く中、主張が異なる自民党女性議員3人に、自らの経験も踏まえて必要性や課題を聞きます。



【写真】(左から)野田聖子・自民党幹事長代行、稲田朋美・前自民党幹事長代行、山谷えり子・参院議員



「#生きるのがつらいあなたへ」 カウンセラー信田さよ子さんインタビュー

11日(金)・12日(土) = くらしナビ面

コロナ禍の影響で自殺が増えています。特に女性の増加が目立ち、10月は前年同月に比べ8割以上も増え、851人でした。背景には雇用の悪化や、リモートワークの定着による家庭内の圧迫度合いが増しているとの指摘も

あります。DV(ドメスティックバイオレンス)や親子関係の相談を受けてきた原宿カウンセリングセンターの信田さよ子所長=写真=に、自殺増加の背景や死にたくなった時の対処法について聞きました。



特集 ワイド

歌手の野口五郎さんが「コロナ対策」アプリを開発

9日(水) = 夕刊特集ワイド

「私鉄沿線」など多くのヒット曲で知られる歌手、野口五郎さん(64) = 写真 = がコロナ禍の中、意外な活躍で話題になっています。実は発明家としても知られる野口さんが新たに開発したスマホアプリを利用すると、コ

ロ感染者情報や災害時の緊急連絡を含めさまざまな情報を受け取ることができます。今年でデビュー50年の節目を迎えた野口さんに、東京都内のオフィスでインタビューしました。



ノルディックスキーク複合・ 渡部暁斗コラム「銀鏡に向かう」

2022年北京冬季五輪に向けたプレシーズンが始まりました。ノルディックスキーク複合で冬季五輪4大会連続出場中の渡部暁斗選手(32)

「写真」のコラム「銀鏡に向かう」が始まります。ジャンプと距離という異なる能力を求められることから「キング・オブ・スキー」と称

される複合。五輪2大会連続で獲得した銀メダルを「鏡」に見立て、思いをタイトルに込めました。



9日(水)より
「スポーツ面」

竹橋の窓のかい
編集後記
一大ブームを巻き起こしている漫画「鬼滅の刃」。単行本の累計発行部数は1億部を突破し、書店などでは品薄状態が続いているようです。そんな中、毎日新聞など全国紙5紙の4日朝刊に、完結巻となる第23巻の発売記念広告が4面にわたり掲載されました。紙媒体は保存に向いていませんし、ファン心理からすれば、サイズの大きさも魅力です。購入を希望される方は、最寄りの毎日新聞取り扱い販売店もしくは毎日新聞お客様センター(0120-4688012、平日11時~16時)の間までお問い合わせください。(志村光太)